

盆栽と四季

変わりゆく季節に対する感受性は、日本の生活様式に深く埋め込まれています。古代から 19 世紀末まで使われていたこの国の伝統的な暦には、馴染みある「四季」だけではなく、注目すべき 72 の「細かい季節」も含まれており、それぞれが前後の季節とは微妙に異なります。このような細かい季節に対する意識は、何百年にもわたり、幅広い慣習や文化的慣習、芸術様式の中に現れてきました。盆栽という芸術は、この伝統のまさに表現している一つです。

盆栽職人は、季節の移り変わりや一年の特定の時期（新年など）に関連する何かを表現したい時、よくその季節に落ちた雑木や草もの（文字通り草のような木）を利用します。雑木の盆栽が与える印象が季節と共にどのくらい劇的に変わるのかを示すために、大宮盆栽美術館のコレクション・ギャラリーは、インタラクティブな展示を行っております。スクリーンに触れたり、スワイプしたりすることで、様々な有名な種類の木が 1 年を通じていかに異なる装いになるのかを示してくれます。